

広報サポーター
カメラリポート

半島の秋を鮮やかに彩る

渥美半島菊花大会

皆さんこんにちは。広報サポーターの河合です。10月28日(金)～11月6日(日)に、サンテパルクたはらで開催された第22回渥美半島菊花大会をご紹介します。

渥美半島の秋の風物詩として知られる電照菊。見物に訪れる観光客も多く、重要な観光資源の一つとなっています。そんな地域の特産である「菊」を広くPRするために、渥美半島菊花大会は開催されているそうです。会場いっぱい、色とりどりの菊花が飾られるこの大会。毎年テーマが変わる舞台の飾り付けも、見ごた



●大菊三本仕立て三鉢組の部



●懸崖



●舞台の飾りつけ



●福助仕立て



えがあります。大菊三本仕立ては、同じ品種で各人の技を競う部門で、花びらが厚く盛り上がって咲く黄色の菊としては人気抜群の銘花だそうです。鉢の中の三輪のうち前二輪は同じ高さにし、三輪を同じ大きさで同時に咲かせ、茎・葉を含めた全体が調和を保つように育てられています。

これらの競技花は、より大きく、より花型の良い花を競う菊花大会出品用の作り方で栽培されています。一回摘芯した後、一本仕立として肥培して、草丈15m位のたくましい茎葉に、養分をたっぷり貯えさせて開花させています。私は、菊花大会の約半月前に、ハウスで栽培されている様子を見に行ったのですが、つぼみから同じ大きさに花を咲かすのが難しく、高度な技術が必要なのだそうです。

そのほか、千輪花や盆栽、オリジナル・アレンジメント作品や地域の小学生、園児の作品展示もありました。開催期間中は、生け花の展示やお茶会、押花体験やフラワーアレンジ体験教室も行われ、多くの来場者でにぎわっていました。



河合

投稿 渥美スプレーマム出荷連合

全国スプレーマム愛知大会

私たち渥美スプレーマム出荷連合は、11月1日(火)、2日(水)にサンテパルクたはらなどで開催された全国スプレーマム愛知大会に、スプレーマムを出品しました。大会では、全国のスプレーマム生産者の方などと、情報交換や意見交換を通して交流を深めました。また、同時開催された品評会では、田原市長賞などを受賞することができました。

これからも、よりよいキク作りに頑張っていきますので、皆さん、よろしくお願いします。



▲受賞の報告をした役員の皆さんと田原市長。スプレーマムとは、小輪ギクをつぼみを摘まないで多花性に育てたもの。